

## ＜資料集＞

表1 入試区分別の入学定員

	H24	H25	H26
一般	120	120	100
推薦	60	60	40
特別高校推薦	－	－	40

表2 入試区分別の実質倍率（受験者数／合格者数）

	H24	H25	H26
一般	1.7	1.4	1.4
推薦	1.5	1.3	1.2
特別高校推薦	－	－	0.6

表3：平成26年度入学生から聴取した本学を選んだ理由（複数回答）

- ・学びたい分野があったから（53%）
- ・他大学の受験に失敗したので（33%）
- ・高校の先生や親に言われたので（23%）
- ・自宅から近かったので（12%）
- ・学力的にちょうどよかったので（10%）
- ・とくに理由はない（8%）

表4：平成26年度入学生における本学の志望順位

第一志望 25%  
 第二志望 32%  
 第三志望以降 43%

表5：平成26年度入学生から聴取した入試広報の効果

問：以下の入試広報事業があなたの本学への入学に影響しましたか？

1：強く影響した 2：若干影響した 3：どちらとも言えない 4：あまり影響したとは思えない 5：ほとんど影響していない

これらの肯定的回答（有効回答中の1と2の割合）について

オープンキャンパス：12.4%

出前授業：4.2%

（各高校での）入試説明会：8.1%

表6：高等学校の入試担当教員から聴取した本学の入試に関する意見（平成26年）

- ・入試区分の変更については、強調されていた印象があまりない（同様6校）。
- ・特に特別高校推薦入試については、ほとんど説明がなかったため、生徒に対しても積極的に勧めることができなかった（同様8校）。
- ・オープンキャンパスに参加した生徒からの感想はあまり聞かない。強い印象を与えていないのではないか。（同様2校）

表7 入試広報関係のイベント数

説明会（大学実施）	H25
実施回数	1
出席者数	12

オープンキャンパス	H25
実施回数	3
1回あたりの来場者数	320
1回あたりのスタッフ数（教職員）	12
1回あたりのスタッフ数（学生アルバイト）	18

説明会（高校訪問）	H25
実施回数	12
出席者数	352

出前授業	H25
実施回数	12
出席者数	452

表8 入試広報担当教職員から聴取した課題（平成26年）

- オープンキャンパス
  - ・回数を増やしたが予算を増やしていないので学生アルバイトが減った。なんとかしてほしい。（職員）
  - ・スタッフを増やして欲しい。（教員、職員）
  - ・土日に出勤しても手当等がない。振替休日もらえるが、使えない場合がある。（教員）
  - ・手当がもらえない。（教員）
  - ・固定メンバーで回しているため、模擬授業などがマンネリ化している。（教員）
  - ・たまに模擬授業などを嫌々やっているのが分かる先生がいるのが問題。（職員）
  - ・オープンキャンパスに活気がない。（職員）
- 出前授業
  - ・内容が高校生レベルではない教員がいるが指摘しづらい。（職員）
  - ・あまり需要がないが、無理に高校さんをお願いしてやらせてもらっている感はある。（職員）

- ・一部の教員に負担がかかっている。(教員)
- ・担当してくれる教員が少ないので同じ教員がいろんな高校に行かなくてはならない。(教員)
- (各高校での) 入試説明会
  - ・毎年、決められた順番で高校に訪問しているが、優秀な生徒、または多くの生徒を送り出してくれている高校を優先的に訪問するなど、メリハリをつける必要がある。(職員)
  - ・各高校での入試説明会とは別に、進路担当の教諭と定期的に情報交換をするなど、緊密に連携するための仕掛けがあった方がよい。(教員)
- (大学での) 入試説明会
  - ・集まりが悪い。招待状のうち2割程度の高校しか来ていないのではないか。(職員)
  - ・大学でやるのではなく、交通の便がよいところで開催した方が良いのでは。(職員)